

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	どれみあーと倶楽部タッチ臼井校		
○保護者評価実施期間	令和7年 3月 26日 ～ 令和7年 4月 19日		
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	23 (回答者数)	17
○従業者評価実施期間	令和7年 3月 26日 ～ 令和7年 4月 5日		
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6 (回答者数)	6
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年 4月 26日		

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	児童発達支援計画を作成する際には、児発管だけではなく職員全員で話し合う時間を設けている。こどもの特性の理解、どのような支援が最適かの意見を出し合って共通理解をしている。	集団での取り組みの中、一人ひとりに合わせた場面も考えている。たえずよい取り組みができるようにし、うまくいかない場合はすぐに細かい変更をしている。	療育人数が過度にならないことを基本として、質の高い療育とは何であるかを今後も話題にしていしく。 ご利用者に質の高い療育を提供するために必要だと考えられる内容についてあらゆる研修・勉強会を積極的に取り組んでいきます。
2	子ども達は安心感をもって楽しみに通ってきている。	子ども達との信頼関係を第1に考え、言葉かけ、支援内容、特性の理解を深めている。	療育の合間では個別に関わる時間を大事にして、今以上にコミュニケーション力を高める活動をはじめ、社会性、人間関係などの力を育てていきたい。
3	子どもの様子を保護者と伝えあい、共通理解を行って信頼関係を築いている。	日頃からこまめに連絡帳や電話でのやり取りを行っている。 保護者の安心できる対応を心がけている。	今後は定期的に時間をとって相談や日常での話などをしていくことが望ましいと考えている。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	適切な職員数の確保	職員が減少してしまったことがあった。	職員数が少ないのではないかと不安を保護者に与えないように、たえず求人情報は流していかなければいけないし、突然職員が離職してしまった時に対応できるようにしたいと考えている。
2			
3			